

どうする?
食糧自給率38%
「みどり戦略」を見据えて

人類の未来のために、
あなたができること……

講演会

シンポジウム

知ることから、始めてみませんか? ~生産・販売・消費をつなぐ環境イベント~

食・環境・食料自給率

沈黙の春 63 年後の現実

トークセッション in 飛騨・世界生活文化センター

第1部 講演会 どうする、どうなる日本の食料自給率

TV、
メディア
活躍中!



講師

鈴木 宣弘

すずき のぶひろ

今、日本で最も注目を集める
専門家が飛騨高山で『令和・
米騒動の真実』を暴くー

食料安全保障の第一人者

1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。2024年4月から同特任教授。日本の食料安全保障問題の第一人者として食料危機への対応を訴え続ける。『食の戦争』『農業消滅』『世界で最初に飢えるのは日本』『このままでは飢える! 食料危機の処方箋』『国民は知らない「食料危機」と「財務省」の不適切な関係』等、著書多数。 ▶プロフィール詳細は裏面

第2部 討論会 食・環境・自給率の未来~これから

食糧危機は、すぐそこ? 講師・鈴木宣弘氏と
第一線で活躍するプロが語る、衝撃の未来予想図。

実行
委員長



精神科医
益田大輔

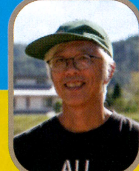
発起人



(株)龍の瞳
今井 隆



匠 こめ由
野田沙希



サノライス
佐野朋之

【実行委員長より】食・環境・自給率のあり方について、まずは現状を知ることから始めませんか。人間の環境に対する考え方に警鐘を鳴らしたレイチェル・カーソンの「沈黙の春」から63年が経ち世界的に虫が減少し、鳥や魚にも影響が及んでいます。食・環境・自給率への関心が高まるなか、将来世代のために何をすべきなのか? 第一人者の鈴木宣弘先生の基調講演の後、トークセッションも企画しています。この機会にみんなで考えてみませんか?

6月14日 土

開演 13:30 ~ 終演 16:20 (開場 12:30)

●料金: 全自由席 1,200 円 [税込]
何歳でも参加できますが、内容は高校生以上対象となります。

●要事前申込 オンラインチケット制 ▶▶▶▶



飛騨・世界生活文化センター 飛騨芸術堂ホール 500 席

〒506-0032 岐阜県高山市千島町900-1 [無料駐車場有] ●高山駅から車で約10分 / 公共バス有り ●アクセス / 地図は裏面

●主 催: 沈黙の春63年後の現実トークセッション実行委員会
協賛企業募集中 (1口5千円) ※希望の方はお問い合わせ下さい。

●お問 合 せ 先 運営事務局: 株式会社 龍の瞳 岐阜県下呂市萩原町大ヶ洞 1068
TEL 0576-74-1191 (平日 月~金 9:00-17:00)